JANPIA
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

舞い上がれ 社会を変える みんなの力
休眠預金活用事業

2026年度緊急枠＜第2次＞資金分配団体公募

採択団体・事業 一覧

（ 全2事業、団体名五十音順 ） 2026年度11月現在

団体名	所在地	申請事業名	対象地域	事業概要	助成予定額（円）
特定非営利活動法人エティック	東京都	令和8年熊本地震 熊本県南エリアにおける生活・生業・地域コミュニティの緊急復旧支援事業	熊本県	本事業は、令和8年熊本地震で甚大な被害を受けた熊本県南エリアにおいて、生活基盤や生業の再建に伴う緊急課題に取り組むことを目的とする。特に平野部・産業集積地である同地域では、住宅被害や休業による現役世代の流出が危惧される。公的支援が避難所運営や高齢者福祉等に追われる中、二重ローンに苦しむ地場農家・中小事業者の再建や、子どもの居場所・病児保育の不足、多文化共生世帯への支援など、制度の隙間に落ちるミクロなニーズへの即応が急務である。一方現場では、自ら被災しながらも立ち上がる若手事業者やローカルプレイヤーが存在するが、単独での体制維持・拡大に課題を抱えている。よって本事業では、緊急課題に挑む地域団体や地場事業者を実行団体として採択・助成し、①子育て環境の整備、②生業の復旧・事務局支援、③コミュニティ拠点開設等を迅速に推進する。資金分配団体のETIC.は、ガバナンス構築や専門人材等の外部リソース接続、PO伴走により実行団体の体制を直接増強する。これらの緊急プロジェクトを支援するプロセスを通じて、現地人材の発掘・育成を進めた結果として、地域側から自律的に立ち上がる「次世代リーダーたちの緩やかな復興ネットワーク」形成の側面的なバックアップを進める。これにより、行政やコミュニティ財団等とも連携しながら、中長期の復興に向けた人材・資金の受け皿となる基盤を熊本県南に構築していく。	116,519,878
一般社団法人RCF	東京都	熊本地震における暮らしとなりわいの再起に向けた復興支援事業	熊本県	八代市・宇城市・氷川町は、平成28年熊本地震、令和2年・7年の豪雨に続き、今回の地震で再び大きな被害を受けた。八代市では10月上旬に国の避難生活支援チームが地元へ業務を引き継ぐなど、外部からの支援は縮小に向かう。一方、保健師が訪ねても会えない高齢者や、井戸が壊れて断水が続く世帯は多い。い草・梨・いちごの農家や日奈久温泉の旅館には、廃業を考える人も出ている。国・県の支援は住宅・施設の復旧と資金が中心で、そこから漏れる人や事業者を支える地元の担い手が足りない。 本事業では、外部の団体ではなく地元に根ざした団体10団体程度に、1,000万～2,000万円の助成と1年間の伴走支援を行う。暮らしの分野では、社会福祉協議会や地域団体による戸別訪問と、地区ごとの復興の話し合いを支える。なりわいの分野では、産地や温泉地の団体による担い手の確保と販路の回復を支える。 あわせて、実行団体と各地の復興まちづくり協議会、県・3市町が集まる「民間と行政の復興協議の場」を設ける。平成28年の地震では応急期の官民連携が定着したが、復興期に暮らしとなりわいを一緒に話し合う場はなかった。この場を地元に根づかせ、県・市町が官民連携で復興を進めるきっかけにしたい。終了後も活動が続くよう、継続計画づくりと民間資金の確保を支援し、得られた手法は今後の被災地でも使える形にまとめる。	186,429,918

※各団体の申請書類より作成。